

別子校区まちづくり懇談会 開催結果報告書

開催日時 令和2年7月21日(火) 19時～20時30分
場所 別子山公民館
司会・進行 伊藤別子校区連合自治会長
参加者数 男45人 女6人 合計51人



1. 市の重点事業に関する質問

【質疑応答】 … なし

2. 校区課題

課題① 別子山地域内市道・林道の通行制限について

【質疑応答】

(大成自治会)

太田尾線の件については、最初からお願いしていた件で、2年間もほったらかしにしておいて、今回ようやくやってくれるようになったが対応が遅すぎるのではないかと。県の試算の問題とかもあるが、前回は2年間、今回は丸々2年間で、道があつて無いようものではないか。もうちょっと道路課として管理をしてほしい。

(建設部長)

早急に対応させていただきたいと思う。

※再検討事項 … なし

課題② 高齢者の福祉バスについて

【質疑応答】

(大成自治会) 可能性はあるということか？

(福祉部長)

個人的な利用については、認められないが、別子地区の中で高齢者の集まりであるとか団体として例えば月1回通院日などと合わせて買い物をするとか余暇活動のなかで団体として利用するのであれば可能だと考える。

(大成自治会)

そういう方法もあるということが分かった。我々も検討するので、その時はよろしくお願いしたい。

※再検討事項 … なし

3. その他

質問① 県道の拡張工事について

(東部自治会)

県道も色々と整備されていると思うが、別子山地域も県道があり、拡張工事もされていると思うが、是非とも整備をすすめてもらいたい。特に弟地から西が狭いので一日も早く県道拡張工事を進めていただくように県の方に力強い要請をお願いしたい。

(市長)

県道新居浜別子山線については、ご存知のとおり大永山トンネルから別子山方面については、まだまだ狭い箇所がある。完全二車線化は難しいため、1.5車線化ということで、狭いところを拡張し大型バスが通れるように県の方にも要望している。また、お隣の高知県の各市町と徳島県と四国中央市の2市4町の四国山地の幹線道路の整備促進ということで、毎年協議会において、国の方に対しても予算要望を行っているところだ。是非整備について県、国に対して要望を行ってまいりたい。

質問② 今後の林道整備について

(東部自治会)

林道整備について ガゾウ線、肉淵谷線などがあるが一部は廃道に近いものが多い。今後の林道の整備の考え方をお聞きしたい。

(経済部総括次長)

今は、保土野線を中心に進めている。以前に肉淵谷線や床鍋線も整備を進めていたが色々諸問題があり滞っている状況にある。今後、再開に向けて担当課のほうで検討を進めたいと考えている。

質問③ 山荘の整備について

(東部自治会)

3月の大雪の影響で赤石登山道など非常に山が荒れている。登山道の整備もそうですが、市として西条の方が管理しておられました山荘を緊急の避難の場所としてもひとつ整備していく必要があると思うが考え方をお聞きしたい。

(市長)

西条市の方で管理をしていただいていたご高齢の方で、市の方で引き取ってもらいたいという話もあった。過去の経緯等もいろいろあるので、何とかしなければならないと思っているが、あの地域は自然公園で保全区域となっており、建て替えは難しいと考えている。現地を確認した結果、避難小屋として一部残せる所はあるので、所有者の方、山を愛する方々と相談しながら対応策を検討したい。

質問④ 市道の通行制限について

(東部自治会)

市道拡張工事などで別子山地域も良くなったが、通行止めなしでいつでも通れるように工事をしてもらいたい。

(建設部長)

市道の通行制限の件については、市民の方の安全を第一に考えており、あと出来るだけ工事期間を短くし費用を安価に抑えていきたいと考えている。ご迷惑をおかけするが、通行止めや片側通行などご理解をいただきたい。

質問⑤ 林道（ガゾウ線、肉淵谷線、床鍋線）の今後について

(東部自治会)

林道 ガゾウ線、肉淵谷線、床鍋線について今後どのように進めていくのか。今の状況だと廃道だと思う。

(経済部総括次長)

肉淵谷線と床鍋線については、以前に整備を進めていたが、地権者との協議の問題等があり、現在は休止をしているところであると担当課から聞いている。今後は、周辺の地権者の方の意向も踏まえながら、引き続き事業の開始に向けて検討を進めてまいりたい。

(東部自治会)

今の状態だと何百メートルかは全然車も入れないし使用出来ないと思います。あれでは、林道、道とは思えません。過去はどうか知りませんが現在はどうですか。

(経済総括次長)

早速、林道肉淵谷線、林道床鍋線については、現地を確認させていただき、今後の状況等を踏まえて早急に検討したい。

(東部自治会)

この林道2路線については、その後地権者とは折衝しないのか。代替わりもしているの
で、折衝できる可能性もあるのでは。

(経済総括次長)

担当課から、現状の地主さんとの折衝はしていないと聞いている。代が替わっているの
を伺ったので、新しい方と協議を進めていきたい。

(東部自治会)

その2路線については廃道同然です。もし山林火災があったとしてもその道は使えない
し、消防団も助かるので早期着手をお願いしたい。

(経済総括次長)

現地確認をして、進めてまいりたい。

質問⑥ 地域バスの充実について

(東部自治会)

我々も70歳近くになってきて、免許証返納ということで、世間一般で騒がれておりま
すが、免許証がないと我々は、何もできないので地域バスをもっと充実させてほしい。今
は、新居浜市内となっていますが、経済圏は四国中央市の方面についても考慮しながら検
討してほしい。福祉バスをもっと充実させていただきたい。

(福祉部長)

福祉バスの利用については、別子山地区の地域性、高齢化もかなり進んでおり、福祉的
な側面で、新居浜市内とは、違う考え方で取り組む必要があると思う。その中で、交通弱
者の問題については、地域ケアネット推進協議会の校区の課題として、あぶり出していき
解決策を検討していきたいと思う。今は、コロナの関係で移動スーパー「こんかいや」も
毎週月曜日に来ていたものも中止となっている。コロナが落ち着いたら再開すると思うが、
色々な社会資源を繋いでいき、地域の方と一緒に検討していきたい。

質問⑦ 筏津山荘跡地の再整備について

(大成自治会)

昨年の10月に、別子山の筏津山荘の跡地に工事が始まって再建できると聞いたが、そ
れがダメになった顛末を聞きたい。

(経済部総括次長)

筏津山荘の観光施設の再整備ですが、昨年の9月補正予算で、登山者も含めて宿泊でき
る施設を造るという実施計画(基本計画)を10月から業務委託で実施し検討した。「未来
を考える会」にも相談もさせていただき一緒に進めてきたが、今年の3月末に愛媛県から
その場所が土砂災害警戒区域の指定の公表があり、そのエリアの中に筏津地域も含まれて
いることが判明した。土砂災害警戒エリアを除いた範囲で建設をする場合は、地域の皆さ

んが考えているような施設整備は難しい状況となっている。そうした現状を「未来を考える会」の皆さんに説明させていただいている。筏津地域での宿泊を伴う施設整備は、市として難しいと考えており、他の場所での建設を検討しているところだ。近いうちに相談させていただきたいと思う。

(東部自治会)

指定されたら建物は何も建たないのか。

(経済部総括次長)

土砂災害警戒区域と土砂災害特別警戒区域の2種類があり、建築の制限があるのは、土砂災害特別警戒区域と聞いている。土砂災害警戒区域については、一定の土砂の流出の防止策を施したうえであれば、ある程度認められると愛媛県から聞いている。

(東部自治会)

代替案を期待している。

質問⑧ 公衆トイレの整備について

(東部自治会)

公衆トイレが登山口の入口や運動公園など何箇所かあるが、だいぶ老朽化している。

新居浜市の観光資源や子どもたちの自然体験などを提供しようとするのであれば、清潔なトイレが必要だと思う。

(危機管理統括部長)

以前に都市計画課長をしていたので代わってお答えする。ご指摘のとおり別子山地域には、公衆トイレが数多くあり、ある程度集約するなど過去に検討をしたことがあるが十分な検討に至っていない。公共下水道も無い地域なので、1か所造ろうとしてもかなりの費用が掛かる。まずは、現在のトイレの利用状況を確認し、利用の少ないトイレの廃止も含めて検討をさせて欲しい。

質問⑨ 県道の落石について

(東部自治会)

東宮橋の県道の落石について、県の方で色々と調査をしているが未だに石が落ちている状況であるので、市として早急な安全対策を県へ申し入れてほしい。

(建設部長) 県のほうに確認する。

(伊藤連合自治会長)

瀬場の湧き水のところについても落石があったので、併せて対応をお願いしたい。

(建設部長) 現地を確認させていただく。

質問⑩ 銅山峰へ登る登山道について

(東部自治会)

銅山峰へ登る登山道だが、一回倒木を除去してもらったが、何箇所かは未だにそのままになっているので対応が必要ではないか。歩くと頭にあたるものや、根っこが取れかかっており一気に崩れてしまう恐れもあるので対応が必要ではないかと思う。

(教育委員会事務局長)

担当課で対応したが、まだ残っているということなので、担当課に現地を確認するように伝える。

【市長まとめ】

- ◎市道・林道の整備について…太田尾2号線については、まさに、2年、3年という長い間通行止めとなっている件については心からお詫びさせていただく。「地すべり」という災害については、特に長期の調査と多額の費用を要するため、国の災害事業を確保しながら実施することから、時間をいただいている。通行止め期間が長いのであれば、当面通行できるような措置をして、そのうえで本格的な復旧に努めてまいりたい。また、林道についてもその都度連絡をいただき、我々も承知していない所もあったので、支所等を通じて現地を確認し、対応を検討したい。
- ◎福祉バスの件について…福祉バスの要綱の運用を見直すことで色々な運用が可能であると思うので、大いにこれを活用していただきたい。私のほうからも、社会福祉協議会のほうへ強く後押ししたいと考えている。
- ◎筏津山荘の件…あの場所は、元々地すべり地域であり、前の筏津山荘は地すべり地域を外して建てられていたので問題はなかったが、今年の3月に土砂災害警戒区域と土砂災害特別警戒区域が被さってきた。これは、後から来たものでいたしかたないと考えているが、別子山地域内に適切な場所があるかどうかを地域の皆さんと一緒に知恵を出し合ってみつけていきたいと考えているので、ご協力をお願いしたい。
- ◎公衆トイレ…早急に現場を確認して措置を講じてまいりたい。
- ◎県道、登山道…現場を確認し、県や、登山道については住友グループが絡んでいるので双方と協議をしながら整備を進めていきたいと考えている。